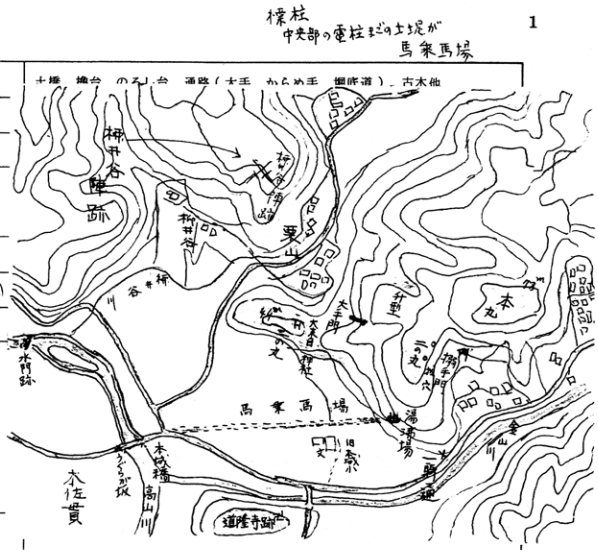
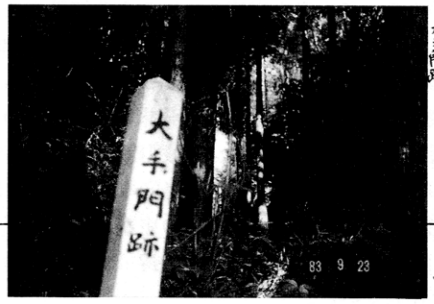
1

記入不要	整理番号	74-7
	関連する城館番号	
1 名称	国指定史跡 高山城跡（他の名称 肝付城，山之城，本城）	
2 所在地	現在 肝属郡 高山町 新富村	
	（旧＜明治２０年以前＞	郡 町村大字 新富
3 遺構の状況 その一	現状 a占地状況	山頂，山麓，丘陵，平地，その他（
	b現況	山林，水田，畠，寺社境内地，宅地，その他（杜社地，水田，宅地，茅場）
	c所有関係	国有地，公有地，区有地，寺社有地，民有地，その他（
	保存度 d残存状況	良　やや良，不良，消滅
	e史跡他指定	国・県・市・町・村　史跡・旧跡・重要遺跡
	f他の法律・条例との関係	都市計画法（市街化区域，市街化調整区域，風致地区）なし 環境保全条例（なし），森林法（ ）
	g当面予定されている開発計画	有（ ），無
	h管理状況	略良好． 五十九年度より，県による本格的調査決定
	i破壊のある場合	全壊，部分壊（時期（終戦後　頃）；原因（ 食糧増産，道路河川の改修，共有地を私有化した。））
	j 遺構の特色（郭＜呼称＞，腰郭？帯郭），犬走り，堀（空堀，水堀，たて堀）， 土塁＜折れひずみ，ます形＞，石塁，虎口，水の手＜井戸＞，庭園，池，礎石．	





大手門跡　右側（東）郭の下が門柱の跡（埋没）

3 遺構の状況 その二	三方は山に囲まれ南部と西部は川に沿い，千尋の谷をへだて天嶮の名城と云える． 本丸，二の丸，三の丸，大手門，搦手門，外郭，茶釜（湯沸場）跡，馬乗馬場，古小路等残る． 地籍図（公図・切図）上の特色	
4 研究史	①地方史（明治以降）	
	②著書	
	③論文	
	④報告書	
	⑤その他	
	備考 発掘，調査	
5 史料 その一	a文献 ①古文書	
	②古記録	高山名勝志，三国名勝図会，地理纂考

執筆	所蔵	備考（刊行年）

③地元出版誌			
④金石文			
⑤古絵図	高山惣絵図 享和三年癸亥閏四月三日		高山町
⑥検地帳			

b 伝承（伝承者氏名　会田寿吉　81　新富 8784-2
　　渡口一英　73　新富町西京町 1-22

大字	小字	小字内の呼称（通称，小名，さげ名，孫字），屋号
新富		

c 地名

実地と図面との照合は困難．
昭和二十年二月二十三日 国指定（史跡）
実地調査の折も区域は不確定
斉藤忠氏，宮内，神部者（北園）

鹿児島県教育委員会

資料１　中世城館跡分布調査調査カード記入例（1）